

<b>Title</b>	著訳者紹介
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.5, 1994.3 : (1)-(3)
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3399">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3399</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

## 〔著 者 紹 介〕

(掲載順)

大木英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ、1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。現在、東京神学大学教授、学校法人聖学院理事長。

〔著書〕『ビューリタニズムの倫理思想』『ビューリタン——近代化の精神構造』『終末論的考察』『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』『キリスト入門』『歴史神学と社会倫理』『偶然性と宗教』『人類の知的遺産・バルト』『日本の神学』（共著）『主の祈り』『新しい共同体の倫理学』ほか。

永岡 薫 ながおか・かおる

1922年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。経済学博士（京都大学）。現在滋賀大学名誉教授、聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕『デモクラシーへの細い道——イギリスと日本』『イギリス革命——思想史的研究』ほか。訳書に、リンゼイ『民主主義の本質——イギリス・デモクラシーとビューリタニズム』ほか。

平 良 たいら・りょう

1926年、東京生まれ。1949年慶応義塾大学法学部卒業。ミシガン大学ロースクール、スタンフォード大学ロースクール留学、法学博士（慶応義塾大学）。前慶応義塾大学教授、現在、聖学院大学政治経済学部長。

〔著書〕『アメリカにおける連邦と州の法律問題』『教材アメリカ法入門』『ヨーロッパ共同体法入門』ほか。

秋吉祐子 あきよし・ゆうこ

1943年生まれ。法学博士（慶応義塾大学）。現在、聖学院大学教授。

〔著書〕『中国の人口変動』（共著）『新・世界の女たちはいま』（共著）『中国の環境問題の所在と課題』ほか。

鐸木昌之 すずき・まさゆき

1951年、神奈川県生まれ。1976年慶応義塾大学法学部卒業。1986年慶応義塾大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位修得退学。1979年9月から80年9月、81年9月から82年9月の2年間、韓国延世大学校社会科学大学院に留学。現在、聖学院大学政治経済学部専任講師、北京駐在大使館調査員として在中国。  
〔著書〕『北朝鮮 社会主義と伝統の共鳴——東アジアの国家と社会 3』『韓国政治エリート研究資料——職位と略歴』（共著）『解放と革命——朝鮮民主主義人民共和国の成立過程』（共著）ほか。論文に “Some Perspectives on Recent D. P. R. K. Policy Toward Japan” ほか。

保谷六郎 はたに・ろくろう

東京大学経済学部卒業、人事院、労働省、岡山県に勤務し、岡山県課長、労働大臣秘書官、労働省労働研修所長。法政大学・明治学院大学非常勤講師、松阪大学教授を経て、現在、聖学院大学教授、勤労厚生協会理事。この間、公認会計士第2次試験合格、コーネル大学大学院留学（フルブライト留学生）、社会保険労務士登録。経済学博士（慶応義塾大学）。  
〔著書〕『労働の経済学』『入門労働経済論』『日本の社会政策史』ほか。

ウィリアム・G・クラーク William G. Kroehler

1931年、米国ミズリー州に生まれる。ロッキーマウンテン大学（英文学専攻）卒業。スカーレット大学院（人類学・言語学専攻）修了。1959年、宣教師として来日。以来、1971年より女子聖学院短期大学学長、1978年より聖学院みどり幼稚園園長、また聖学院大学総合研究所副所長も兼任。  
〔著書〕『愛のうちを歩む』『忘れないでほしい』

ランドルフ・H・スラッシャー Randolph H. Thrasher

1937年米国生まれ。1959年 Duke 大学卒業。1965年 Michigan 大学修士課程修了。1974年同大博士課程終了。言語学博士。1959年より1962年まで沖縄国際キリスト教短期大学、1966年より1980年まで関西学院大学、1980年より国際基督教大学、現在同大学教授。  
〔著書〕“Conversation Basics” “One way to say more by saying less” ほか。また、テスト執筆並びに開発として、“The Michigan Test of English Language Proficiency” “YMCA Test of English Proficiency” “Businessmen’s English Test & Appraisal” などがある。

デール・T・グリフィー Dale T. Griffiee

1938年生まれ。アメリカ、ベイラー大学哲学部卒業後、School for International Trainingで、TESOL の M. A. を取得。ピッツバーグ大学 English Language Institute 日本校専任講師をへて、現在、聖学院大学総合研究所員。

〔著書〕“Listen and Act, Hear Say, A Guide to Teaching English in Japan”（共著）など。

島岡 丘 しまおか・たかし

1932年生まれ。1955年東京教育大学卒業。サンフランシスコ州立大学、カリフォルニア大学ロスアンゼルス分校（UCLA）、レディング大学、ロンドン大学などに留学。ウェールズ高等工科大学院 TEFL ディプロマコース修了。言語学博士。現在、筑波大学教授。

〔著書〕『教室の英語音声学 QA』『英語学と英語教育』（共著）『語源で覚える英語単語飛躍増殖辞典』『発音・聞き取り上達辞典』『中間言語の音声学——「近似カナ表記システム」の確立と活用』『リトルスター英絵辞典』（共著）ほか。翻訳書に、D. A. ウイルキンズ『ノーションナル・シラバス』、G. L. リーチ『英詩鑑賞——言語学からの考察』（共著）など。

グラハム・ハウズ Graham Anthony Kingston Howes

1938年生まれ。1965年 M. A. を取得後、Cambridge, Essex, Trinity Hall, London, Princeton, 筑波, Chicago などの大学で教鞭を取る。1993年には国際交流基金及び日本私学大学財団の Visiting Scholar をも務める。宗教社会学専攻。現在、Trinity Hall, Cambridge 大学教授。国際 YMCA 開発援助部門の副議長。

〔著書〕“The Police and the Community”（共著）“Christian Witness in Secular Societies” “God Damn Yanquis——American Hegemony and Contemporary Latin American Christianity” “Secular and Religious Concept in the Social Sciences”（近刊）など。